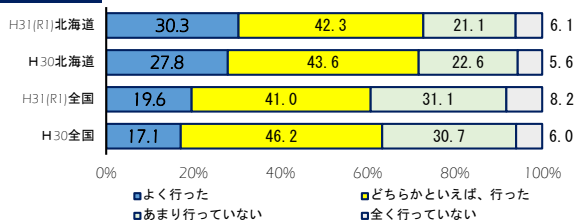


(3) 小学校と中学校が連携した取組の充実

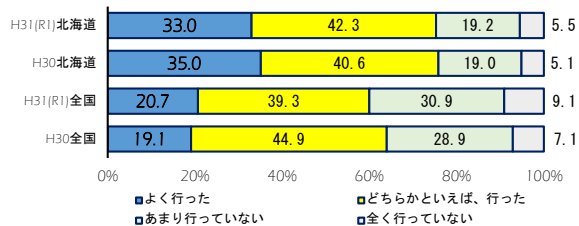
〔分析〕

「平成30年度の全国学力・学習状況調査の結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか」（学校質問紙）

小学校

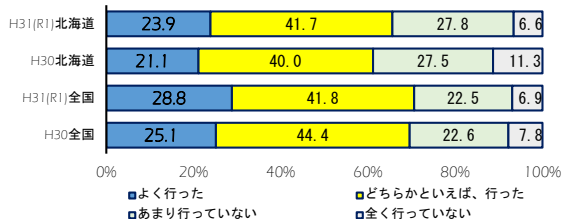


中学校

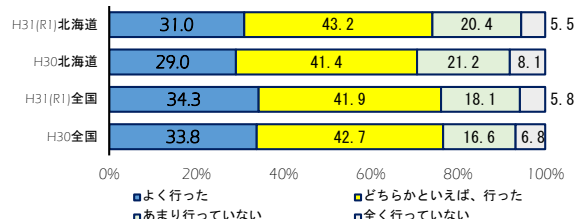


「前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか」（学校質問紙）

小学校

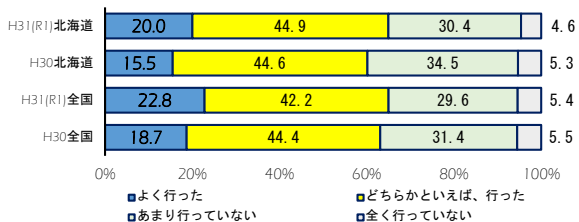


中学校

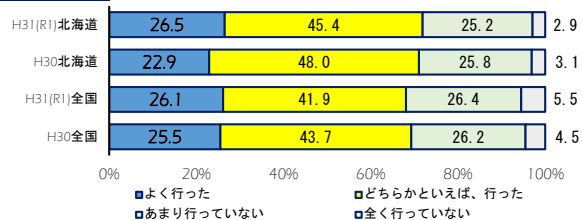


「前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」（学校質問紙）

小学校



中学校



- 全国学力・学習状況調査の分析結果の共有の項目について、「よく行った」と回答した学校の割合が全国を上回るなど、情報共有を行っている学校が多い状況が見られる。
- 小学校と中学校の合同の研修や教育課程の接続などに関する項目について、「よく行った」と回答した学校の割合が昨年度と比べて増加しているものの、全国を下回っている状況が見られるなど、小学校と中学校が連携した取組の推進に課題がある。

〔改善の方向性〕

- ◆ 同一中学校区内の小学校と中学校が連携した取組の推進に向けて、地域で育成すべき子どもの資質・能力を検討しながら、各教科等や各学年の指導の在り方を考える合同の研修会を開催するなど、取組を工夫することが大切です。



目指す子ども像の実現状況の把握による検証改善サイクルの確立

ポイント

同一中学校区で、育成すべき子どもの資質・能力を検討し、共通理解を図るとともに、全教職員で取組の改善を行っています。

① 各種調査の結果分析を生かした実態把握

- ・ 全国学力・学習状況調査や学校評価など各種調査結果を小・中学校合同で分析し、中学校区の児童生徒の学習状況や課題を把握
- ・ 分析結果を踏まえ、義務教育9年間を見通した「目指す子ども像」を設定し、学校・家庭・地域で共有

② 小中一貫教育推進に向けた共通理解

- ・ 中学校区における「スタンダード」を設定し、全教職員の共通理解の下、学力向上や体力向上、豊かな心の育成などに向けた取組を推進

③ 目指す子ども像に係る評価の実施

- ・ 小中合同部会において、定期的に子どもの学力や体力等の状況を共有するとともに、「目指す子ども像」の実現状況を協議し、各取組の検証・改善を推進

- 中学校区における「スタンダード」を設定し、全教職員で共通理解を図ったことにより、発達の段階に応じた「目指す子ども像」の実現状況を把握しやすくなった。
- 「目指す子ども像」の実現状況を検証しながら取組を推進したことにより、中学校区の教育活動の質の向上を図ることができた。

各種調査結果の活用による9年間を通じた指導計画の改善

ポイント

合同研修会を定期的開催し、子どもたちの学力の状況や教師の指導の在り方を共有しています。

小中合同研修会の取組

指導計画の見直し

各種調査の結果や分析に基づき、小・中学校が連携して重点単元を位置付け

同一中学校区の子どもたちが苦手な領域を分析し、関連単元の重点化と指導方法の共有化を図っています。

乗り入れ指導等の計画

重点単元を中心に、乗り入れ指導やチーム・ティーチングを計画

時期	教科	学年	単元	総時数	乗り込み時間
5月	算数	5	3小数のかけ算	9h	1~2h
6月	算数	6	3分数のかけ算	9h	
6月	算数	4	4小い算	7h	
6~7月	算数	4	5わり算の練習(2)	13h	9~10h
6~7月	算数	5	5小数のわり算	12h	2~3h
6~7月	算数	6	4分数のわり算	11h	
7月	算数	4	6式と計算	9h	
9~9月	算数	5	7分数の大きさとたし算、ひき算	9h	6~7h
10~11	算数	2	10かけ算	20h	
11~12	算数	2	11かけ算九九づくり	17h	4~5h
1~2月	算数	4	15小算と整数のかけ算、わり算	14h	10~11h
2月	算数	3	15かけ算の練習(2)	10h	
2~3月	算数	4	17分数の大きさとたし算、ひき算	10h	

【乗り入れ指導の計画を位置付けた算数科計画表】

教職員の資質向上

各教科等グループによる指導方法の工夫改善等についての発表・交流

小学校教諭のきめ細かな指導や中学校教諭の専門性を生かした指導など、互いの指導方法のよさについて共通理解を図り、質の高い授業を目指しています。



【小中合同研修会の様子】

- 年間を通して小中合同研修会を開催したことにより、9年間の系統性を見通した指導計画の構築や授業改善に結び付けることができた。
- 乗り入れ指導を計画的に位置付けるとともに、重点単元について小学校教諭と中学校教諭によるチーム・ティーチングを行ったことにより、子どもたちの学力の定着につながった。